

DIALOG(R)File 352:Derwent WPI

(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

014829170 \*\*Image available\*\*

WPI Acc No: 2002-649876/200270

XRPX Acc No: N02-514469

Merchandise management method involves setting up new goods price based on number of goods sold by store corresponding to input identifier of returned goods

Patent Assignee: OPTROM KK (OPTR-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 2002230141	A	20020816	JP 200121591	A	20010130	200270 B

Priority Applications (No Type Date): JP 200121591 A 20010130

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 2002230141	A		6 G06F-017/60	

Abstract (Basic): JP 2002230141 A

NOVELTY - Each store terminal connected to network, inputs the identifier of returned goods to a server. The server sets up the new price for goods based on number of goods sold by store corresponding to the input identifier of returned goods. The set new selling price is notified to the store terminal.

DETAILED DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is included for merchandise management system.

USE - For managing individual information of goods.

ADVANTAGE - Price of goods is managed effectively and efficiently by managing individual selling information.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the flowchart of the merchandise management operation. (Drawing includes non-English language text).

pp; 6 DwgNo 3/3

Title Terms: MERCHANDISE; MANAGEMENT; METHOD; SET; UP; NEW; GOODS; PRICE; BASED; NUMBER; GOODS; SOLD; STORAGE; CORRESPOND; INPUT; IDENTIFY; RETURN; GOODS

Derwent Class: T01; T05

International Patent Class (Main): G06F-017/60

International Patent Class (Additional): G07G-001/12; G07G-001/14

File Segment: EPI

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

07361644     \*\*Image available\*\*

**MERCHANDISE MANAGEMENT METHOD AND ITS SYSTEM**

**PUB. NO.:     2002-230141 [JP 2002230141 A]**

**PUBLISHED:     August 16, 2002 (20020816)**

**INVENTOR(s):   SHIGETOMI TAKASHI**

**SAITO TETSUO**

**APPLICANT(s): OPTROM INC**

**APPL. NO.:     2001-021591 [JP 20011021591]**

**FILED:           January 30, 2001 (20010130)**

**INTL CLASS:     G06F-017/60; G07G-001/12; G07G-001/14**

### **ABSTRACT**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a merchandise management method and its system to efficiently use merchandise by managing tangible merchandise and personal information separately.

**SOLUTION:** In the merchandise management method to manage purchase and sales of the merchandise by a system including a network, an identifier of returned merchandise is inputted from terminals of the respective dealers connected with the network S32, sales frequencies are read from the identifier of the returned merchandise 42, a new sales price is set S43 and notified to the dealer S44 in a server having a function to set a price of the merchandise corresponding to the sale frequency provided on the network. Thus, users share one piece of merchandise and pay difference between a purchase price and a return price as use fees of the merchandise. Personal information is held by the users separately from the merchandise to be shared.

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	PI	ラウンド (参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 4	G 0 6 F 17/60	1 2 4 3 E 0 4 2
	3 0 2		3 0 2 A
G 0 7 C 1/12	3 6 1	G 0 7 C 1/12	3 6 1 E
	1/14		1/14

審査請求 未請求 請求項の数 15 O L (全 6 頁)

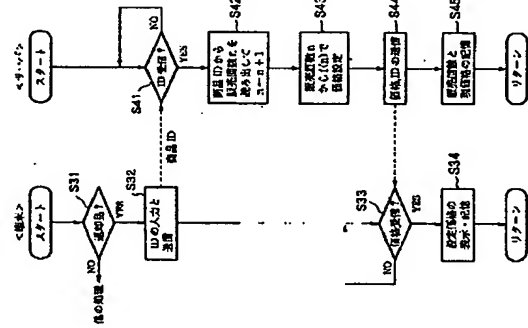
(21) 出願番号	特開2001-21591 (P2001-21591)	(71) 出願人	594044/28 株式会社オプトロム
(22) 出願日	平成13年1月30日 (2001.1.30)	(72) 発明者	宮城県仙台市青葉区上郷字学松原7番地 成富 孝士
		(72) 発明者	宮城県仙台市青葉区上郷字学松原7番地 齊藤 智男
		(74) 代理人	宮城県仙台市青葉区上郷字学松原7番地 株式会社オプトロム内 10076/28 弁理士 大塚 康徳 (外 3 名) Fターム (参考) 3D042 C402 C803 Q008 E001

(54) 【発明の名称】 商品管理方法とそのシステム

(57) 【要約】

【課題】 箱物の商品と個人情報を分類して管理することと商品と効率よく使用する商品管理方法とそのシステムを提供する。

【解決手段】 ネットワークを含むシステムで商品の売買を管理する商品管理方法で、ネットワークに接続された各販売店の端末からは、返却された商品の識別子が入力されるS32と、該ネットワーク上に設けられた、商品の値段を販売回数に対して設定する機能を有するサーバでは、前記返却された商品の識別子から販売回数を算出してS42、新たな販売価格を設定してS43、前記販売店に通知するS44。このように、1つの商品をユーザが共有して、購入価格と返却価格との差額を商品の使用料として支払う。個人情報には、共有する商品とは別にユーザにより保持される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを含むシステムで商品の売買を管理する商品管理方法であって、  
ネットワークに接続された各販売店の端末からは、返却された商品の識別子が入力され、

該ネットワーク上に、商品の値段を販売回数に対して設定する機能を有するサーバが設けられ、前記返却された商品の識別子から販売回数を算出して、新たな販売価格を設定して前記販売店に通知することを特徴とする商品管理方法。

【請求項2】 前記販売価格は、販売回数の増加に従って下降することを特徴とする請求項1記載の商品管理方法。

【請求項3】 前記販売価格は、所定の価格まで下降すると以降は下降しないことを特徴とする請求項2記載の商品管理方法。

【請求項4】 前記商品の識別子は前記商品に2次元バーコードや文字列などにより付与されており、前記販売店の端末への入力を受けてサーバに送られることを特徴とする請求項1記載の商品管理方法。

【請求項5】 前記商品は、デジタルカメラ、ゲーム機、家電を含むことを特徴とする請求項1記載の商品管理方法。

【請求項6】 前記商品は前記商品に設置するプログラムやデータ、あるいは個人情報格納する着脱可能な記憶媒体により動作し、該記憶媒体はCD、DVD、カード型CD等の光ディスク、光磁気ディスク、半導体メモリ、ICカード、スマートカード、コンパクトフラッシュ (登録商標) カード等のカードなどを含むことを特徴とする請求項5記載の商品管理方法。

【請求項7】 ネットワークを含むシステムで商品の売買を管理する商品管理システムであって、  
ネットワークに接続され、返却された商品の識別子を入力して送信する各販売店の端末と、  
該ネットワーク上に設けられた、商品の値段を販売回数に対して設定する機能を有するサーバとを備え、  
前記サーバは、前記返却された商品の識別子から販売回数を算出して、新たな販売価格を設定して前記販売店の端末に通知することを特徴とする商品管理システム。

【請求項8】 前記販売価格は、販売回数の増加に従って下降することを特徴とする請求項7記載の商品管理システム。

【請求項9】 前記販売価格は、所定の価格まで下降すると以降は下降しないことを特徴とする請求項8記載の商品管理システム。

【請求項10】 前記商品に付与される前記商品の識別子を2次元バーコードや文字列などで記憶する媒体を更に備え、前記商品の識別子は、前記販売店の端末への入力を受けてサーバに送られることを特徴とする請求項7記載の商品管理システム。

【0004】本発明は、上記点に鑑み、雑物の商品と個人情報を分離して管理することで商品の効率よく使用する商品管理方法とそのシステムを提供する。

【0005】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するため、本発明の商品管理方法は、ネットワークを含むシステムで商品の売買を管理する商品管理方法であって、ネットワークに接続された各販売店の端末から、返却された商品の識別子が入力され、該ネットワーク上に、商品の通致を販売回数に対応して設定する機能を有するサーバが設けられ、前記返却された商品の識別子から販売回数を算出して、新たな販売価格を設定して前記販売店に通知することを特徴とする。

【0006】ここで、前記販売価格は、販売回数の増加に従って下降する。また、前記販売価格は、所定の価格まで下降すると以降は下降しない。また、前記商品の識別子は前記商品に2次元バーコードや文字列などにより付与されており、前記販売店の端末への入力を介してサーバに送られる。また、前記商品は、デジタルカメラ、ゲーム機、家電を含む。また、前記商品は前記商品に固有するプログラムやデータ、あるいは個人情報や格納格納可能な記憶媒体により動作し、該記憶媒体はC、D、DVD、カード型CD等の光ディスクや、光磁ディスク、半導体メモリ、ICカード、スマートカード、コンパクトフラッシュカード等のカードを含む。

【0007】又、本発明の商品管理システムは、ネットワークを含むシステムで商品の売買を管理する商品管理システムであって、ネットワークに接続され、返却された商品の識別子を入力して送信する販売店の端末と、該ネットワーク上に設けられた、商品の通致を販売回数に対応して設定する機能を有するサーバとを備え、前記サーバは、前記返却された商品の識別子から販売回数を算出して、新たな販売価格を設定して前記販売店の端末に通知することを特徴とする。

【0008】ここで、前記販売価格は、販売回数の増加に従って下降する。また、前記販売価格は、所定の価格まで下降すると以降は下降しない。また、前記商品に付与された前記商品の識別子を2次元バーコードや文字列などで記憶する媒体を更に備え、前記商品の識別子は、前記販売店の端末への入力を介してサーバに送られる。また、前記商品は、デジタルカメラ、ゲーム機、家電を含む。また、前記商品は前記商品に固有するプログラムやデータ、あるいは個人情報や格納格納可能な記憶媒体により動作し、該記憶媒体はC、D、DVD、カード型CD等の光ディスクや、光磁ディスク、半導体メモリ、ICカード、スマートカード、コンパクトフラッシュカード等のカードを含む。

【0009】又、本発明のサーバは、ネットワークを含むシステムで商品の売買を管理する商品管理システムにおけるサーバであって、該ネットワーク上に設けられ

て、商品の通致を販売回数に対応して設定する機能を有し、ネットワークに接続されて、返却された商品の識別子を入力して送信する各販売店の端末から送られた識別子から販売回数を算出して、新たな販売価格を設定して前記販売店の端末に通知することを特徴とする。ここで、前記販売価格を、販売回数の増加に従って下降させ、また、前記販売価格を、所定の価格まで下降すると以降は下降させない。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明をより詳細に説明するために、添付の図面に従って、本発明の実施の形態を説明する。商品管理システムで管理される商品としては、デジタルカメラ、ゲーム機、家電などを含み、商品と該商品で使用するコンテンツ（例えば、プログラムやデータ）が分離可能な商品（例えば、プログラムやデータ）である。

【0011】＜本実施の形態の商品管理システムの構成＞図1は、本実施の形態の実施の商品管理システムの構成例を示す図である。尚、本実施の形態では、サーバや販売店端末は汎用コンピュータとして説明するが、特殊コンピュータであっても構わない。

【0012】図中、10は本商品管理システムを管理する機能を有するサーバ、20はインターネット、30～3nは本商品管理システムで商品を販売する販売店に設置された端末である。

【0013】サーバ10において、11は全体制御を司る中央処理装置（以下CPUと略す）、12は固定のプログラムやデータが格納されているROM、13は設定価格13aや価格設定プログラム13b等を記憶するRAMであり、図示しないがインターネット20を介した販売店端末30との通信プログラムなども記憶されている。

【0014】14はCDやフロッピー、（登録商標）ハードディスクなどの外部記憶装置であり、本商品管理システムで扱う商品の現在の販売価格が各商品の販売回数に対応して記憶されている。図1では、商品Aの1D、販売回数、現在価格が行14aに、商品Bが行14bに、商品Cが行14cに登録されている。尚、このデータは全商品について作られてよいが、サーバ10による商品管理や在庫管理などをスムーズに行うには、商品単位に異なるデータベースを作成するのが好ましい。尚、販売回数や価格だけに限定されず、現在の商品の場所、販売の経過日時など、更なる商品管理のためのデータを記憶してもよい。

【0015】販売店端末30において、31は全体制御を司るCPU、32は固定のプログラムやデータが格納されているROM、33は1D送信プログラム33aや価格受信プログラム33b等を記憶するRAMであり、図示しないがインターネット20を介したサーバ10との通信プログラムなども記憶されている。

【0016】34はCDやフロッピー、ハードディスク

などの外部記憶装置であり、販売店にある商品の現在の販売価格が各商品の販売回数に対応して記憶されている。図1では、端末30のある販売店が有する商品Aの1D、現在価格が行34aに、商品Cが行14cに登録されている。端末3nのある販売店が有する商品Bが行14bに登録されている。尚、サーバ10に、このデータは全商品について作られてよいが、販売店端末30による商品管理や在庫管理などをスムーズに行うには、商品単位に異なるデータベースを作成するのが好ましい。尚、販売回数や価格だけに限定されず、現在の商品の場所、販売の経過日時など、更なる商品管理のためのデータを記憶してもよい。

【0017】更に、販売店端末30には、データ入力・指示用のキーボード35、表示用のCRT36が接続されている。上記商品1Dはキーボード35から入力されたり、バーコードリーダなどの1D読取部37から入力される。

【0018】＜本実施の形態の商品管理システムの動作＞例図1のシステムにおいて、本商品管理システムは次のように動作する。ここで、商品の価格が図2のように、最初の販売時は4000円、2回目の販売時は3000円、3回目は2000円、4回目は1000円、5回目以降は500円と変化させるように予め決定されている。

【0019】簡単なために商品が1種類で、A、B、Cの3つがあるとする。商品Bは販売店端末3nの設置された販売店に保持されており、まだどのユーザも購入していない商品であり、価格は4000円である。商品Aは、販売店端末30の設置された販売店にある販売回数が3回目となる商品であり、価格は2000円である。この商品Aは、どこかの販売店で4000円で買われ、次の販売店で3000円で引き取られて、3000円で次のユーザに買われ、販売店端末30の設置された販売店のユーザで引き取られたものである。すなわち最初のユーザは1000円の出費で所定期間（あるいは所望時間）、この商品を利用して必要が無ければ返却し、次のユーザも1000円の出費で所定期間（あるいは所望時間）、この商品を利用して必要が無くなり返却したものである。このように、1つの商品をその時点で必要なユーザが、購入して自分の保有とするよりも、安価に必要な時間だけ保持して、返却することで、共有使用が可能となり無駄を省くことができる。又、ユーザは、必要な場所で購入し、必要でなくなった場所へ返却し、その間の使用にかかる費用は購入・保有する価格より十分安いものとなる。

【0020】商品Cは、販売店端末30の設置された販売店にある販売回数が10回目となる商品であり、価格は500円である。この商品Aは、最初にどこかの販売店で4000円で買われ、次の販売店で3000円で引き取られ、これを繰り返して10回目の販売に成ったも

のであるが、5回目以降は価格は500円より低下せず、商品Cの返却があっても引き取り価格は0円である。すなわち、4回目以降のユーザの出費は500円であり、6回目以降は500円が販売店の収入となる。この収入は、最終的にはメーカーやサイトの収入となる。このように、1つの商品をその時点で必要なユーザが、購入して自分の保有とするよりも安価に必要な時間だけ保持して、返却することで、共有使用が可能となり無駄を省くことができる。すなわち、1つの商品により多くの販売ができればできる程、収入が増えることになる。従って、その販売回数によって最初の価格を十分低く設定しても、製造価格を十分に越える収入が期待できる。

【0021】しかし、本システムの最大の利点は、それ

ぞれの商品を特定のユーザが必要のない時に保有することなく、商品の共有使用を推進することで、大量生産・大量消費という無駄をなくして環境や資源に配慮しながら、十分な収益を上げることが可能な、新たな販売、流通方式を提供したことにある。

【0022】更に、この商品が商品と該商品で使用するコンテンツ（例えば、プログラムやデータ）が分離可能な商品であれば、個人情報も自分で使用して個人の秘密は守られ、商品は雑物として誰でも使用できるように流通できる。商品の世界においてプライベートとパブリックを完全に分離して互いの干渉を無くした新たな販売、流通方式が提供される。

【0023】図3に、本実施の形態における端末とサーバの処理手順をフローチャートで簡単に示す。この例では、返却時に次の販売価格の設定を行うように示しているが、販売時に返却時の価格を設定するような例でもあってもよい。

【0024】まず、ステップS31で販売店端末に返却品の1Dが入力されたか否かが判断され、入力されると、ステップS32で商品の1Dがサーバに送信される。

【0025】サーバでは、ステップS41で1Dの受信を持って、受信があると、ステップS42で図1のデータから商品1Dに対応する販売回数nを算出して、これを1つカウントアップする。ステップS43では、このカウンタアップされたnに基づいてその関数f(n)で次の販売価格（＝返却品の購入価格）を設定する。そして、ステップS44で設定価格を商品1Dと共に販売店端末に返信し、更新された販売回数と価格を商品1Dに対応して記憶する。

【0026】価格と商品1Dを受信した販売店端末は、ステップS33からS34に進んで、受信した設定価格を表示し、商品1Dに対応して次の販売価格となる受信価格を記憶する。販売店の店員は表示された価格で返却された商品を購入する。

【0027】この場合、ユーザは購入価格と返却時の購入価格との差額が、商品の使用料として払うことにな

